

会 報

福島町

社 協

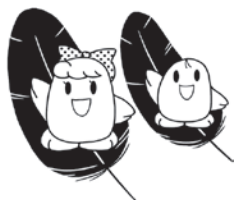


85号

令和7年10月1日



福島小学校前で老人クラブと児童が花壇整備～
「水やりを頑張ろうね！」



ともに支え合う、安心・安全・福祉のまちづくり

会報『社協』は「赤い羽根共同募金」の助成事業で作成しています

令和6年度事業の状況

地域福祉増進のため福島町社会福祉協議会は主に次のような事業を実施しました。

【福祉振興事業】

1. 福祉関係団体助成事業

福島町身体障害者福祉協会など町内福祉関係団体の自主活動への支援を行いました。

2. ボランティア育成事業

地域ボランティア団体の育成のため各種ボランティア研修会への参加や団体の活動助成金の支援を実施しました。

3. 地域助け合い除排雪事業

高齢者の生活を支援するため、町内会を単位に高齢者の見守りを通じて冬期間の生活の安全を図りました。1町内会の除排雪の実施がありました。

4. 安心サポート電話事業

定期的に安否確認の電話を自動発信（令和7年3月末現在登録者＝9世帯）し、相談や体調不良等への対応を実施しました。

5. 地域サロン事業

要望の多い軽スポーツとして、モルック体験を中心に、14会場で108人の参加者と交流促進を行い、日常生活での課題等の意見交換を図りました。

6. 老人福祉事業

老人クラブ連合会事務局業務支援、敬老会記念品贈呈等

7. 広報事業

年3回会報「社協」発行により情報提供

8. 低所得者福祉事業

生活相談、生活福祉資金貸付等

【介護関連事業】

1. 訪問介護事業

ヘルパーの訪問による予防給付の生活支援（軽度者家事援助等）及び介護給付の生活支援及び身体介護

2. 訪問入浴介護事業

入浴車による重介護者の訪問入浴

3. 居宅介護支援事業

介護、生活相談、ケアプランの作成

4. 移送サービス

リフト車により、介護度が高い方や認知症が重く、一人では公共の交通機関を利用して病院受診できない方などの送迎（有料）

【福島町委託の福祉事業】

1. 障がい者地域活動センター設置

障がいを持つ方の交流と社会参加の支援や創作活動の窓口設置

2. 特別支援学級介助員派遣事業

福島小・中学校に介助員を派遣し対象児童の学校生活の支援を行いました。

3. 安心生活創造事業

個別訪問による高齢者の実態調査と、情報の整理、支援台帳作成等の活動を継続しました。【630名】

また、新規で80歳以上の独居高齢者への声掛訪問を実施しました。【92名】

左の地域助け合い除排雪事業、安心サポート電話事業も基本的には安心生活創造事業と一体的な運用を行っています。

4. 福島町福祉センター管理事業

福祉センターの管理及び貸し館受付などを行いました。

5. 千軒地区デマンド型交通運行事業

2年目になりますが、千軒地区デマンド型交通の実証運行業務を行いました。

令和6年度一般会計収支決算状況

【収 入】

【支 出】

(単位：円)

科 目	決 算 額	説 明	科 目	決 算 額	説 明
会 費	1,180,000	一般会費 1,486世帯×500円=743,000円 賛助会費 98件437,000円	事 務 局 費	8,914,130	職員人件費他 法人運営経費
共 同 募 金 助 成 金 収 入	797,000	広報活動等として共 同募金委員会より	事 業 費	95,289	地域福祉事業 福祉団体、児童福 祉、ボランティア 等の助成等
補 助 金	9,770,000	町からの法人運営補 助金（活動車3台更 新補助金）		19,327,657	訪問介護事業 介助員人件費、車 両維持費
受 託 料	20,387,112	町からの受託他 安心生活創造事業 福祉センター他		4,942,694	訪問入浴事業 介助員人件費他
事 業 収 入	17,485,744	ホームヘルプサービ スなど介護保険サー ビス給付費他		4,522,435	居宅介護支援事業 介護支援専門員人 件費他
寄 付 金	238,878	一般寄付 個人6件、団体4件		557,954	車両管理事業 移送サービス用リ フト及び赤い羽根 号維持費
雑 収 入	457,868	貸付償還金、預金利 子他		6,431,029	福祉センター管理事 業 人件費他
固定資産取得 積立金取崩収入	952,000	活動車3台更新		5,821,000	安心生活創造事業 安心サポート電 話、除排雪事業費
前年度繰越金	5,833,183			1,100,356	千軒地区デマンド型 交通運行事業 運転手等人件費、 車両管理費他
				322,900	各種負担金他
合 計	57,101,785		合 計	52,035,444	

収入合計57,101,785円 - 支出合計 52,035,444円 = 次期繰越 5,066,341 円

実施期間
10月1日～12月31日

同募金にご協力をお願いいたします！

総額1,076,982円となりました。ありがとうございました！
度に次のとおり活用されます。

渡島地方共同募金委員会の事務費等として、23,900円

福島町共同募金委員会の事務費として、50,082円
(赤い羽根募金の事務費、活動資材購入等)

⑤ 移送サービス事業（リフト付車両の維持費）

歩けない方、車イス、寝たきりの方をリフト付車両で送迎する事業です。
利用料金については、低料金で実施しています。

※利用料のみですと、使用するリフト付車両の維持管理費や燃料代などを賄えませんので共同募金を活用しております。

⑥ 福祉活動車運行事業

老人クラブ・身体障害者福祉協会・ボランティア団体等の会議、研修会等の送迎等に利用しています。

※車両の維持管理費や燃料代に活用しております。

その他以下の事業で活用する予定です。

⑦ 広報活動事業（社協会報等発行経費）

⑧ ボランティア育成助成金

⑨ 福島町身体障害者福祉協会活動助成金

福島町共同募金委員会事務局

住所／福島町字三岳32－3 福島町社会福祉協議会内

電話／47－2284





令和7年度も、赤い羽根共

令和6年度は皆様のご協力で募金
皆様の善意である募金は令和7年

【道地域助成金】 168,000円

北海道内の福祉関係施設等で福祉車両購入や、施設改修費、町内会や団体への行事用テント等の助成費用として活用されます。

【市町村地域助成金】 835,000円

※福島町社会福祉協議会に助成され、①～⑨の事業に活用されます。

① 敬老会記念品配布事業

例年行われている敬老会で高齢者の方々へ差し上げる記念品の購入費として活用されます。



② 地域たすけあい除雪事業

高齢による身体虚弱や、病気の後遺症などにより身体に障害を持ち、近くに身寄りが居ないなど除雪が困難な方に対し、降雪量の多い時などに実施しています。除雪のボランティア保険や活動援助金として活用されます。

③ 児童福祉活動助成事業

青少年健全育成を目的とするスポーツ大会等への助成として活用されます。(なわとび大会等)



④ 安心サポート電話事業

この事業に登録されている方の自宅にパソコンのシステムにより、毎週一定の時間に自動的に電話発信し、安否確認や困りごと相談の有無を確認します。その結果、困りごと相談等がある場合は職員が訪問する事業の費用に活用されます。

介護のことなら

社協が行う介護サービス

社会福祉協議会は町の福祉向上のために町民の皆さまの会費負担などにより運営しておりますが、行政が行う福祉施策に関する情報提供や様々な相談活動のほか公益的な社会福祉法人として公平公正な立場で介護保険適用の介護サービス等を提供しております。



◎介護サービスを利用したいけど手続きは？

◎どんな介護サービスを、どう利用したらいいの？、その費用は？

など、不明な点やお困りのことがあったとき

社協の居宅介護支援事業

☎47-5080・47-2284

ケアマネージャーがご相談に対応し、各種サービス利用の調整等を行います。

必要に応じて社協の介護サービスをご提供いたします

訪問介護事業

(ホームヘルプサービス)

①身体介護サービス

排泄の介助や身体
清拭着替えやおむつ
交換 等

②生活援助サービス

動作能力が低下した方や認知症の方
などの生活全般のお手伝いを致します。

※資格を持ち、研修を受けたヘルパーが訪問いたします。ご安心ください。



訪問入浴介護事業

(訪問入浴サービス)

何らかの理由により寝たきりになった
方や、動作能力が低下し自宅浴室で入浴
が困難となった方な
どもご本人の居室内
で安全に入浴してい
ただくことが出来ま
す。

※おおむね要介護3以上
が対象です。



デイサービスやショートステイ、介護用品のレンタル、地域包括支援センター（町の保健師）との連絡調整等も行います。

老人クラブ連合会の環境美化事業（6月24日に実施）

老人クラブ連合会では、吉岡温泉前、福島小学校前の2か所に、マリーゴールド、ペチュニア、サルビアなど5種類の花を植える環境美化事業を実施しました。各地域の老人クラブの皆さんが中心となって、今年は、約5百株の色とりどりの花を植えました。

福島小学校前では、3年生の子供たち15人と一緒に汗を流していましたが、「水やりも頑張るんだよ」など声掛けしながら楽しく花壇整備をしたところでした。



吉岡温泉前で「穂内老友会」の皆さん



早速、「新生会・美杉会・福島小」で植えた花に水やり

社協の役員が改選されました

～ 会長就任のごあいさつ～



福島町社会福祉協議会
会長 金谷栄一郎

平素より社協に対し、ご支援ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

去る6月26日に任期満了に伴う理事・監事・評議員の役員改選が行われ、理事会において会長に選任されました。

これまで丁子谷雅男前会長が10年の長きに亘り地域福祉の向上と発展のために尽力されましたことに深く敬意と感謝を表し、その意思を継承できるよう取り組んでまいります。

私自身、これまでの行政経験等を活かしながら、社協の基本理念である「ともに支えあう、安心・安全・福祉のまちづくり」を目指し、行政や関係機関と連携を図りながら、役職員一丸となって努めてまいりますので、今後とも社協運営にご理解ご協力をお願いいたします。

理 事 (8名)	(会 長) ☆金谷栄一郎 (副 会 長) 原田 恵悦、堀 繁子 ☆櫻庭 節子、金谷 雅子、極檀 忠男、小林 佳子、出羽 正機
監 事 (2名)	澤田 勝男、斉藤 昌
評 議 員 (11名)	☆澤田 満、☆野坂 禎子、☆吉田 秀明、☆矢野 良平、☆中村 浩 ☆花田美也子、☆柏木富美子、☆藤沢 正、☆上嶋 幸恵、☆櫻庭智花子 常磐井武典

☆=新任

※任期=理事・監事：2年（令和7年6月26日～令和9年の定時評議員会終結時まで）

評 議 員：4年（令和7年6月26日～令和11年の定時評議員会終結時まで）

さわやかサロン開催!

令和2年度から町委託事業として、地域懇談会や研修を兼ねた「さわやかサロン」を行っています。

今年は、社協事業のPR、ボランティア事業等の意見交換を行った後、昨年度、好評の「モルック体験」を実施しています。



浦和地区のモルック体験 (8/28)

浦和町内会館では、3ゲーム全て、50点ピッタリの到達を一発で達成するレベルの高い内容で、「とても楽しかった!」と軽スポーツを満喫していました。

スキルアップ研修会

陽光園、スマイル、社協で構成している福島町福祉施設等連絡協議会では、介護職員のスキルアップ研修を実施しています。

6月23日に帯広市の笠松信幸氏を講師に「災害対策」をテーマにオンライン研修として福祉センターで開催しました。



災害対応のグループ発表 (6/23)



ハラスメント研修 (8/29)

また、8月29日には北海道働き方改革推進支援センターの望月英詞氏を講師に「バウハラ防止とカスハラ対策」をテーマに開催し、非常時の対応や安心して力を発揮できる職場づくりについて学びました。

社協の人事異動

●退職

(令和7年9月30日付)

訪問介護員 佐藤 彩子
福祉士 喜美子



ご厚志 ありがとうございます ございました

社会福祉協議会が行う高齢者福祉と児童福祉活動に対し、次のとおりご寄付をいただきました。

心から感謝申し上げます。

輝星会様	寄付金	23,185円
匿名希望様	寄付金	10,000円
匿名希望様	寄付金	1,500円